

青年部と政治の取り組み

無関心でいられても 無関係ではいられないから

いま ここから はじめよう



政治に対する率直な仲間の思い

誰がやっても
変わらない

押し付けられ
たくない

やることが多く
て手が回らない

青年部ばかり
やらされてる

政治を前向きに捉えられない現状はあります。

でも、みんな本当に興味がないのでしょうか？

道本部春闘討論集会の事後アンケートでは多くの青年が
「政治の取り組みは必要」と答えていました。

なぜ組合として、政治の取り組みが
必要なのかしっかり説明してほしい

やってOKなこと、ダメなことの
ルールを知りたい

政治闘争の意義を話し合うこと、生活・職場の課題解決のための取り組みであることを確認することなどが、青年部としての組織強化にもつながります。

私たちが望む社会とは・・・

- 「自治体労働者」として
 - ・住民に笑顔で生活してもらうために魅力ある街を作りたい
 - ・より良い行政サービスを提供したい
 - ・街を元気にしたい

- 「労働者」として
 - ・生活に不自由しない賃金が欲しい
 - ・休みを自由に取りたい
 - ・残業をせずに定時に帰りたい
 - ・人員を増やして欲しい

⇒理想に近づけるためにはどうすればいいか？

自治労が政治に取り組む意義

- 私たちの業務は法律や条例に基づいています。政策転換や新たな制度の導入があれば、現場がもっとも影響を受けますし住民の不満などもぶつけられる立場です。
- 私たちの賃金・労働条件の改善は、労使交渉で解決していくことが前提ですが、法律や条例によって縛られていることも多くあり、それを変えるためには、政治の力が必要です。
- 自治体労働者の生活と権利を守り、労働条件を改善するためには、労働組合の政策と私たちの実態を理解する各種議員を政治の場に送り出す必要があります。

組織内首長・議員、協力首長・議員は、有権者である住民に
私たちの主張を先頭に立って広めてくれる代弁者

政治で決められたことが私たちの生活・職場にどれだけ影響しているの？

○自治体労働者として

- 人事評価制度
賃金・一時金・昇給に差をつけ、人件費抑制の手段にすることも可能。職場での競争意識や分断につながる可能性も・・・
- 地方交付税算定方法の変更
「トップランナー方式」の導入で民間委託などコストカットを推進した自治体を基準として交付金の算定をするため歳入減で住民サービスは低下する恐れが・・・
- マイナンバー、地方創生など
人員削減されているにも関わらず、新規業務ばかり増え、休日出勤や残業が当たり前に・・・

○労働者・生活者として

- 消費税増税

賃金上がっても消費税増税や物価上昇により、実質賃金は4年連続でマイナス。頑張っても収入が増えても支出は増えて生活は苦しいまま・・・

- 労働法制改悪

「時間外ゼロ」「解雇の金銭解決」「生涯派遣で低賃金」など企業優遇で労働者にとっては働きにくい社会へ

- 安全保障関連法の成立

集団的自衛権行使の容認など「戦争する国づくり」へ

この夏の選挙が わたしたちの
生活・職場・まちの将来を左右します

だから、自治労北海道本部は この2人を推薦しています

比例代表候補予定者（現1期・自治労組織内）

えさき
たかし

元自治体職員
だからこそその
発言力！



<http://esakitakashi.net/>

福岡県柳川市（旧三橋町）出身。1979年、三橋町役場に入職。2004年から自治労福岡県本部の書記長、2007年からは自治労中央本部で労働局長を歴任。2010年に参議院初当選。以来、地方自治・地方行財政や公務制度改革などを所管する総務委員会、内閣委員会に所属して、民主党内での政策立案に携わる。2013年には超党派の議員による「立憲フォーラム」を立ち上げ、事務局長に就任。

北海道選挙区候補予定者（現1期）

徳永
エリ



<http://tokunaga-eri.jp/>

北海道札幌市出身。1981年から、TVリポーター（ルックルックこんにちは、のりゆきのトークDE北海道など）として活躍。2010年に第22回参議院議員通常選挙に北海道選挙区で初当選。

現在、農林水産委員会委員、原子力問題特別委員会委員、国の統治機構に関する調査会委員を務める。

私たちにできること

- みんなで学習しよう（何のために取り組むのか意義の説明や政治と生活・職場の結び付きなどを確認する）
- 選挙の時だけではなく普段からの仲間への関わりを強化しよう（仲間の生活・職場に耳を傾け、そこから改善にむけた取り組みにつなげるなど組合の必要性を感じてもらい信頼されることが重要！）

私たち ひとりひとりの
生活・職場・まちの将来のために！